

地域総ぐるみで 青少年の健全育成を

冬の育成強調月間

重点目標

明るく楽しい家庭づくり
寒さに負けない体力づくり
環境浄化と非行の防止

次代を担う青少年が心身ともにすこやかに成長し、郷土の発展に寄与することは、私たち県民すべての願いです。

そのためには、青少年自らが、次代の担い手としての誇りと責任をもって努力することはもとよりですが、行政をはじめ、家庭、学校、職場、地域社会など多くの人が協力して、総合的な青少年対策を推進することが大切です。

このような観点から、本県におきましては七月から八月にかけて「青少年育成県民総ぐるみ運動」ということで、県民あげて青少年の育成や非行防止の活動を展開し、例年になく大きな成果をおさめることができました。

御承知のように、青少年対策は一時的なものでその成果が期待できるものではなく、家庭を基盤とした日常的な活動が必要であることは申すまでもありません。

そこで、県におきましては、青少年育成県民会議と協力して、年間を通じ春、夏、冬の三季に分けて青少年育成の県民運動を推進し、日常活動の促進をはかっておりますが、今年も昭和五十二年十二月十六日から五十三年一月十五日までを「冬の青少年健全育成強調月間」として、次の要領で実施することにしました。

■主唱 熊本県、熊本県青少年育成県民

会議

■趣旨 年末年始は一年間を反省し、新しい年への希望を育てるとともに、家族や友人との心のふれあいを強め、社会との交流を図るよい機会です。

この時期に青少年自らが、明るい家庭のもとで、規律正しい生活設計をたて、心身を鍛えるとともに、すべての県民が手を携えて、地域ぐるみで青少年の健全育成運動を推進しようとするものです。

運動のすすめ方(推進事項)

■明るく楽しい家庭づくり

青少年育成の基盤は家庭です。この時期にもう一度家庭の意義と責任を自覚して、親子のふれあいを強め、明るく楽しい健全な家庭づくりにつとめましょう。

○家族みんなで一年間を反省し、新しい年の計画を話し合いましょう。

○規則正しい生活プランをたて、各自の役割と責任を明らかにし、実践しましょう。

○職域、地域における各種の育成行事に参加し、多くの人たちと心の結びつきを深めましょう。

○家を離れている家族や友人に便りをだし、家庭や故郷とのつながりを強めましょう。

○毎月第一日曜日の「家庭の日」を実践しましょう。

■寒さに負けない体力づくり

寒さのため、せつかくの冬休みを家中ばかりで過ごしがちです。その反面、正月ということで暴飲暴食のおそれもあります。家族みんなが注意し合って、寒さに負けない健康な体力づくりにつとめましょう。

○寒さに負けないよう、朝の体操や冬のスポーツで体を鍛えましょう。

○クリスマスや正月などで夜ふかしになりがちです。早寝早起きで、健康管理につとめましょう。

○正月行事は暴飲暴食につながりません。おとなも子どもの食生活に十分注意しましょう。

■環境浄化と非行の防止

青少年をとりまく社会環境は、行政施策とあわせて、積極的な住民運動で徐々

に浄化のきざしがみられております。

(表一参照)

しかし、映画、出版物等の一部には、いぜんとして有害なものが見られ、青少年の育成を阻害し、結果的には少年非行の増加につながっています。(表二参照)

期間中に、地域ぐるみで社会環境の点検と浄化活動を推進するとともに、補導

活動を積極的に展開し、非行の未然防止につとめましょう。

○世論をかん起し、地域総ぐるみで有害環境の浄化活動を推進しましょう。

○少年に有害な映画や雑誌は「見せない、見ない、買わない、売らない」ようにつとめましょう。

表1 県内における自動販売機の設置状況

種別	台数	昭52年1月現	昭52年9月現	増減
図書自動販売機		89	49	-40
がん具類自動販売機		35	15	-20
衛生用品自動販売機		185	118	-67

表2 非行少年等検挙補導状況 (男女)

種別	51年	52年
刑法にふれる行為をした少年(人)	1,224	1,238
その他の法令にふれる行為をした少年(人)	135	157
犯罪ではなく不良行為少年(人)	12,742	13,420

(52年は9月末現在数、県警本部防犯少年課調べ)

○自動販売機による有害図書、がん具類の販売は自粛しましょう。

○師走のあわただしさと、正月の気のゆるみから子どもを放任しがちです。子どものしつけや動向には十分注意しましょう。

○青少年育成者は補導活動を積極的に行うとともに、地域ぐるみで「愛の一声運動」を推進しよう。

以上、運動のすすめ方を簡単にまとめてみました。この運動の実施にあたっては、市町村の青少年問題協議会や青少年育成にかかわりのあるすべての機関団体が一丸となった、いわゆる「地域総ぐるみ」で取り組むことが必要です。

地域のみならず、それぞれの立場と役割をよく認識して、地域の実情にあった運動を積極的に推進してください。

(青少年課)